



木曾漆器のお膳をReデザイン

過去にはこの産地の主力製品であったものが、今失われようとしています。かつて木曾漆器が支えた消えつつあるカタチを、現代生活に合ったアイデアで新しい命を吹き込んでください。テーマは宗和膳を代表とする木曾の塗りとカタチである「お膳」。木曾漆器の良質な素材と、高度な技術を生かした伝統の品です。国内外さまざまな方々に使っていただけるような斬新な作品を希望します。

そうわぜん 宗和膳

黒塗りまたは朱漆塗りの四つ脚の膳。
江戸時代に「お膳」の形になり普及した。
庶民に浸透したのは江戸後期から明治時代。



黒内朱



朱内黒



総黒



木地

問1 地域の魅力は何ですか？

豊かな自然の中ではぐまれた伝統ある木曾漆器のふるさと。最近は高原野菜やワイン等の地元資源を活かしたイベントや活動が県内外の多くの人々から支持されるようになってきています。そしてなんととっても澄んだ空気と清純な水の流れ、恵み多い木々の山。これらのものが我々の最も誇るべき財産だと思っています。

問2 応募作品に望むものはなんですか？

出来れば今までにない新しいお膳の使い方を提案していただけたらと思っています。「宗和膳」は一つの代表的なカタチですが敢えてそのカタチにこだわらなくてもいいのではないかと考えています。

問3 希望価格帯

設定自由。

参考：写真の宗和膳の価格は、1客 50,000円位です。

課題提供者

木とうるしの会

手塚 英明 ちきりや手塚万右衛門商店
<http://www.chikiriya.co.jp>

太田 忠 やまとみ芸

荻村 正公 マルチカ荻村漆器店

長谷川廣咏 長谷川漆工房

酒井慶太郎 酒井産業(株)

岩原 篤 (有)木曾漆工

石本 則男 うるし工房 石本玉水

大河内 淳 (株)大河内家具工房

<http://ohkochikagu.com>

木曾漆器工業協同組合HP

<http://kiso.shikkikumiai.com/>

